

ジオパーク講座「最新の有珠山の研究に触れてみよう！」開催

洞爺湖有珠山ジオパークでは、ジオパークの見どころや楽しみを知る機会として、「ジオパーク講座」を開催しています。

今回はその一つとして、北海道大学大学院理学研究院の中川光弘特任教授より「最新の研究成果から見た有珠山の形成史」について、また、北海道大学地震火山研究観測センター助教の田中良先生より「有珠山における稠密GNSS（衛星測位システム）観測網の展開」についてお話いただきます。

最新の有珠山研究について学べる貴重な機会ですので、ぜひお申込みください。

開催日：令和5年11月25日（土）15:00～17:30

会場：伊達市防災センター 3階 防災教育ホール（伊達市松ヶ枝町13-1）

参加料・定員：無料、40名 申込が40名に達し次第、締め切ります

申込：協議会事務局 電話(0142)82-3663 ※ 平日8:45～17:30

◆ 講師紹介 ◆



中川 ^{みつひろ} 光弘 先生

北海道大学大学院理学研究院
特任教授。洞爺湖有珠山ジオ
パーク学識顧問。

研究分野は火山地質学、テフ
ラ層序学、岩石学、防災科学
など。



田中 ^{りょう} 良 先生

北海道大学地震火山研究観
測センター 助教。研究テー
マは観測と流動数値計算に
基づく火山活動メカニズム
の解明。



有珠湾上空から撮影した有珠山（奥）

山は変化する？

「山」は、ずっと変わらないもののようですが、特に火山は、噴火や崩壊を繰り返すため、形が変化する山と言えます。

有珠山は、約2万年前から噴火をくりかえしてできた火山です。一時期は、羊蹄山のような円錐形でしたが、何かのきっかけで上の方が崩れてしまい、下半分が残りました。その後、再びいくつもの溶岩ドームができましたが、その成り立ちについて明らかでないところも多く、研究が望まれています。